

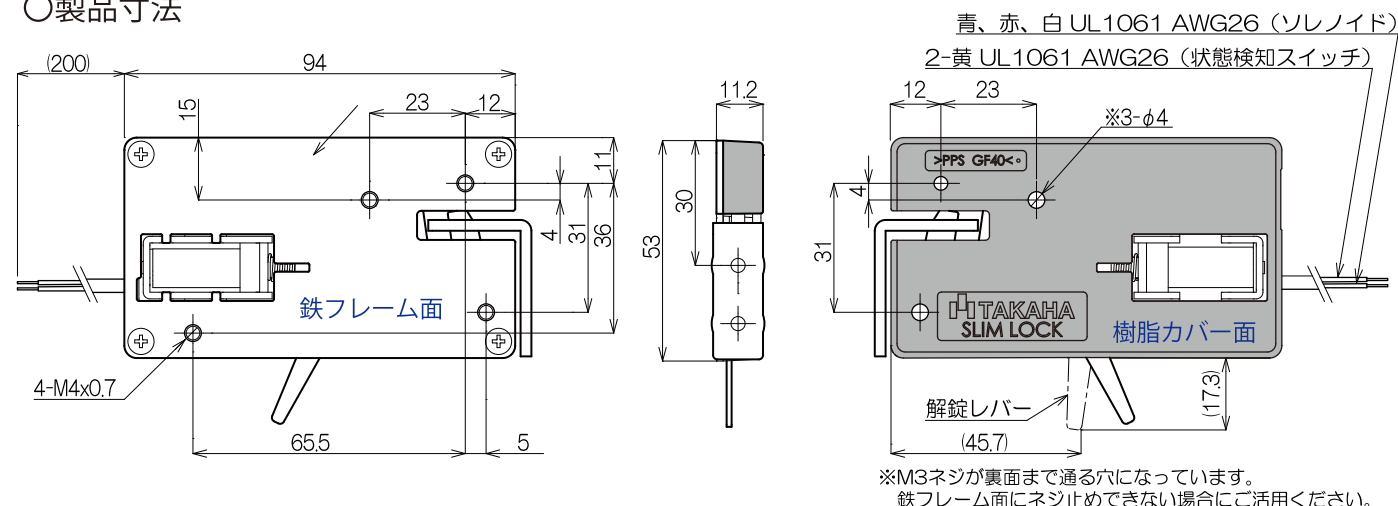
○製品概要

本製品は、非通電時にも解錠状態を維持する機能を持った電気錠です。
 施錠中に赤 (+) / 青 (-) のリード線に通電すると解錠され、通電停止後は施錠操作を行うまで解錠状態を維持します。
 解錠状態中に施錠操作（赤 (+) / 白 (-) のリード線に通電）すると施錠可能状態になり、
 ロック金具を挿入することで自動的に施錠されます。
 また、本製品にはスイッチが内蔵されており、スイッチの ON/OFF 信号を利用した施解錠状態の検知ができます。

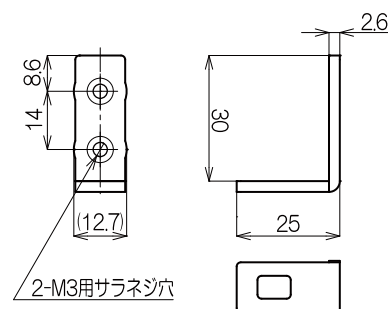
○安全上の注意

- ・本製品は通電率（時間定格）6% です。必ず 15 秒以内に通電を停止してください。
 15 秒を超えると製品が過熱し、発煙、焼損の恐れがございます。詳しくは P4 の「通電率（時間定格）」をご参照ください。
- ・配線図を確認し、誤配線にお気を付けください。正常に動作しない恐れがございます。
- ・感電などの恐れがございますので、配線や取り付け作業は必ず製品に通電していない状態で行ってください。
- ・本体の取付は適切に行ってください。不適切な取付は正常な動作の妨げになる恐れがございます。
- ・製品の故障の原因となりますので、製品の分解や改造は行わないで下さい。
- ・極端な温度や湿度、振動などがある環境では動作に予期せぬ影響を与える可能性があるため、
 そのような環境でのご使用は避けてください。

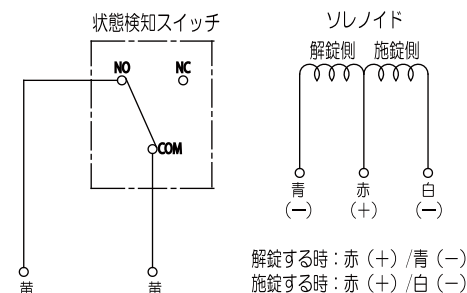
○製品寸法



本体寸法



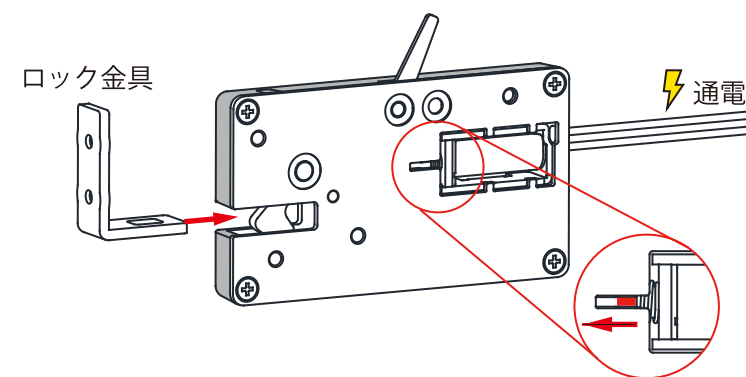
ロック金具寸法



施錠時配線図

○ご使用方法

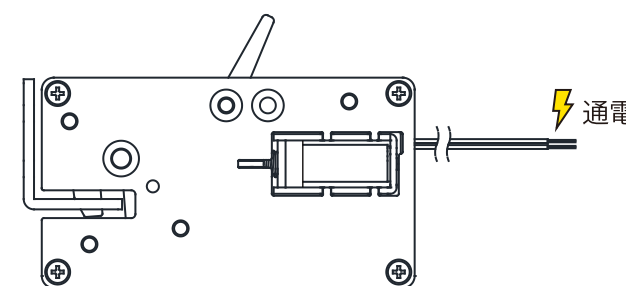
1. 施錠操作



解錠中に施錠操作（赤+/白-で通電）すると
 施錠可能状態になります。
 この状態でロック金具を挿入することで、
 自動的に施錠されます。
 施錠可能状態にするために
 必要な通電時間は約 0.1 秒です。

また、ソレノイド部を矢印方向に
 約 1mm 操作することで
 手動で施錠可能状態にすることができます。

2. 解錠

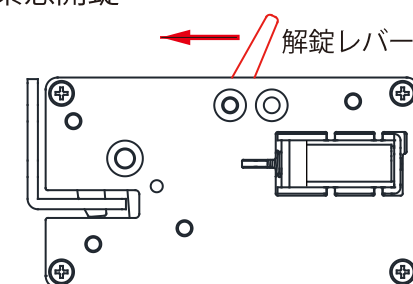


施錠中に解錠操作（赤+/青-で通電）すると
 解錠されます。
 解錠するために必要な通電時間は約 0.1 秒です。
 解錠後は、「1. 施錠操作」をするまで、
 ロック金具を挿入しても施錠されません。

⚠ 注意

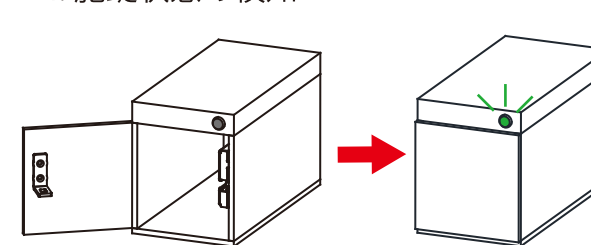
ロック金具が 5.0N（500g）以上の力で
 引っ張られた状態だと解錠できない場合があります。

3. 緊急開錠

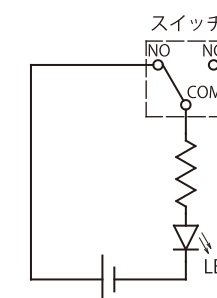


解錠レバーを矢印方向に操作すると、
 手動で解錠することができます。
 レバーを操作すると、解錠状態となります。
 再度施錠したい場合は、施錠操作を行ってください。

4. 施錠状態の検知



施錠状態検知の使用例

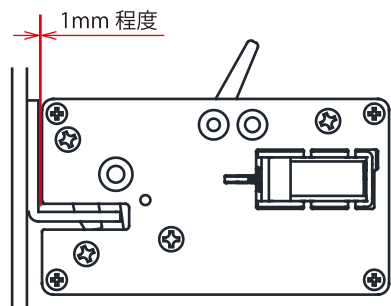


配線例（施錠時）

製品後方から出ているリード線（黄色）は、
 状態検知スイッチ接続用のリード線です。
 施錠時にスイッチが ON になりますので、
 施錠状態の検知にご活用ください。

○取り付けについて

1. スリムロックとロック金具の位置関係を確認

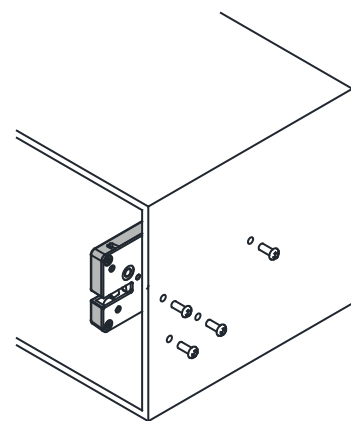


扉を閉めた際に、正常に施錠される位置に本体およびロック金具を取付けてください。目安は施錠時の本体とロック金具の隙間 1mm 程度となる位置です。

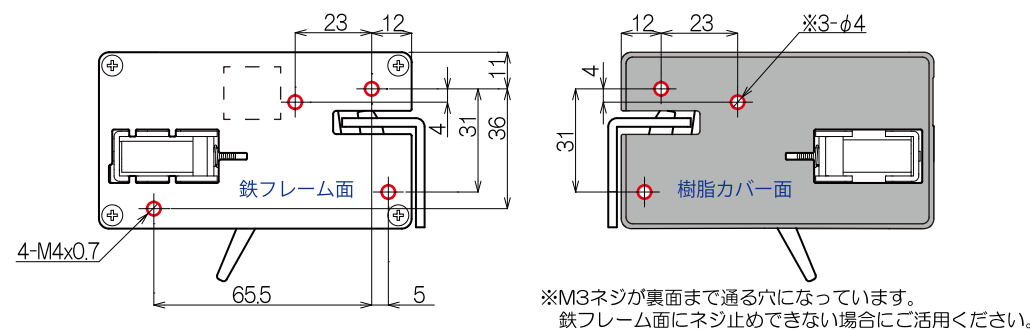
ロック金具などが筐体と干渉し、扉が閉まらないといった場合がありますので、取付けの際は両面テープなどで仮組みを行い、取付け後の動作に問題がないことをご確認ください。

また、ロック金具が取り付け相手と干渉する場合は、干渉箇所に逃がしを入れる、製品取付位置を見直すなどしてご対応ください。

2. 製品の取り付け穴を開け、製品を取り付ける



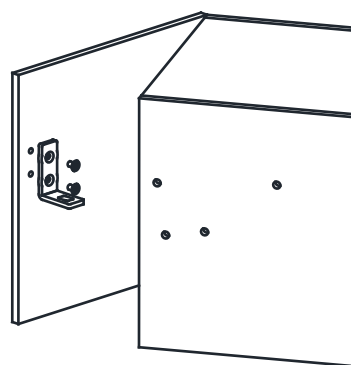
ボックスへの製品取付例



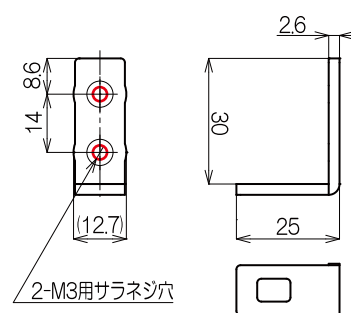
金属フレーム面には M4 タップ穴が 4 ヶ所、樹脂カバー面には通し穴が 3 ヶ所あります。穴あけ位置は、上図の○箇所の寸法を参照してください。

- ・鉄フレーム面の M4 タップ穴を使用する場合
製品を取り付けたい箇所に穴（φ4.2~4.5）を開け、本体を取り付けます。
- ・樹脂カバー面の通し穴を使用する場合
取り付け相手側に M3 のタップ穴を開けるなどして取り付けます。

3. ロック金具の取り付け穴を開け、ロック金具を取り付ける



扉へのロック金具取付



扉にはロック金具を取り付ける穴を開けます。小ネジを使用する場合は M3 タップ穴、タッピングネジや木ネジの場合は、使用するネジに適した下穴を開けてください。穴あけ位置は、左図の○箇所の寸法を参照してください。

○製品仕様

・NL07101

○電気仕様（参考値 表は周囲温度20℃時＊使用環境により変化）（使用可能環境：-5℃～40℃/氷結、結露なきこと）

型式番号	抵抗値 解錠時 / 施錠時	電流値 解錠時 / 施錠時	消費電力 解錠時 / 施錠時	通電率（時間定格）
NL07101	57Ω / 125Ω	0.42A / 0.19A	10W / 4.6W	6%

注意 一度の通電時間は、**15 秒以内**にしてください。

○動作特性（参考値 表は周囲温度20℃時＊使用環境により変化）（使用可能環境：-5℃～40℃/氷結、結露なきこと）

解錠に必要な最低電圧と電流 (ロック金具には負荷無)	施錠に必要な最低電圧と電流 (ロック金具には負荷無)	解錠時にロック金具に かけられる最大負荷
DC20V以上 0.35A	DC20V以上 0.16A	3.0N (DC24V印加時)

本表は、本製品が最低限動作可能な条件を示していますが、なるべく定格電圧かつロック金具に負荷が掛からない状態でのご使用を推奨いたします。

・NL07102

○電気仕様（参考値 表は周囲温度20℃時＊使用環境により変化）（使用可能環境：-5℃～40℃/氷結、結露なきこと）

型式番号	抵抗値 解錠時 / 施錠時	電流値 解錠時 / 施錠時	消費電力 解錠時 / 施錠時	通電率（時間定格）
NL07102	14Ω / 31Ω	0.85A / 0.38A	10W / 4.6W	6%

注意 一度の通電時間は、**15 秒以内**にしてください。

○動作特性（参考値 表は周囲温度20℃時＊使用環境により変化）（使用可能環境：-5℃～40℃/氷結、結露なきこと）

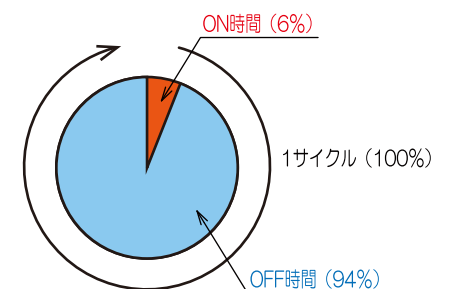
解錠に必要な最低電圧と電流 (ロック金具には負荷無)	施錠に必要な最低電圧と電流 (ロック金具には負荷無)	解錠時にロック金具に かけられる最大負荷
DC10V以上 0.71A	DC10V以上 0.32A	3.0N (DC12V印加時)

本表は、本製品が最低限動作可能な条件を示していますが、なるべく定格電圧かつロック金具に負荷が掛からない状態でのご使用を推奨いたします。

○通電率（時間定格）

本製品は連続通電（長時間通電）ができず、連続通電するとコイルが過熱し故障します。その過熱によるコイルの焼損を防止するため、通電率（時間定格）を定めています。本製品の通電率（時間定格）は6%です。この6%はON・OFFの合計時間（100%）に対するON時間の割合を表しています。

ON時間を1秒とした場合は、**6% (ON) : 94% (OFF) = 1秒 : x秒** の比例式より
x秒 = 15.6秒 と求められるので、
1秒ONした後は、OFF時間に16秒以上設けて使用します。



通電率イメージ

タカハ機工株式会社

〒820-0111 福岡県飯塚市有安 958-9
TEL:0948-82-3222 FAX: 0948-82-2616
<https://www.takaha.co.jp/>

